



英国市場の特性 英国市場における日本産米輸出拡大の展望

日本貿易振興機構（ジェトロ）ロンドン事務所

農水・食品担当ディレクター 林伸光

2026年3月 GOHANプロジェクト第3回会合

1 | 英国市場の特性

多様な食文化

大英帝国時代から続く歴史的背景と国際都市ロンドン
〈最近のトレンド〉日本食に続き、韓国、マレーシア、南米などの料理が人気に

チェーン展開

スーパーマーケットでは、Tesco、Sainsbury'sなどの大手4社が6割超のシェア
〈最近のトレンド〉非日系のカジュアル寿司チェーンが相次いで店舗数拡大を発表

健康志向

成人の4分の1以上が肥満であることの裏返し、ビーガン食やフリーフロム食品を選択
〈最近のトレンド〉短くシンプルな原材料リスト（クリーンラベル）

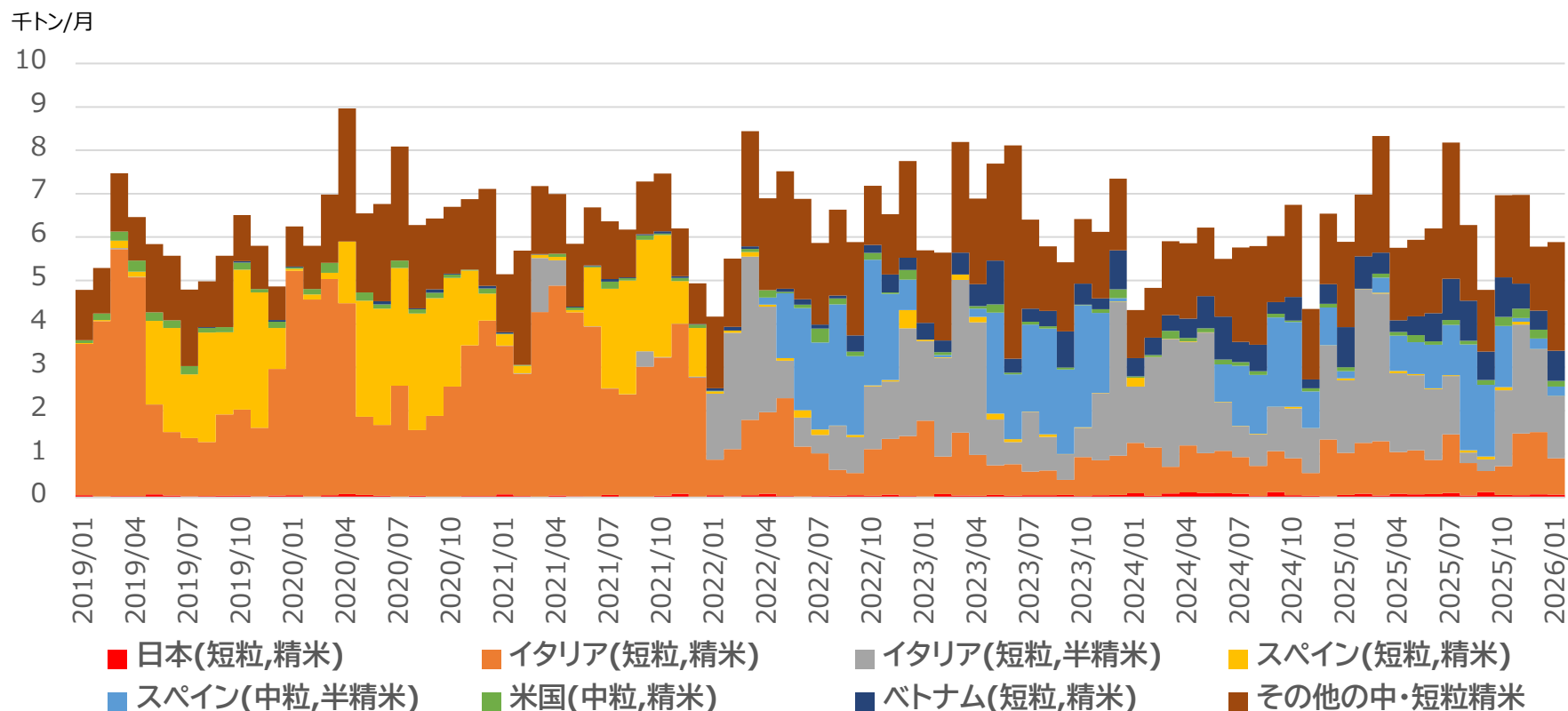
簡便志向

レディミール（調理済み食品）市場は欧州トップクラス
〈最近のトレンド〉コロナ後の在宅勤務日数は平均週1.8日、食事の簡便化が加速

2 | 英国における中・短粒米の輸入量

- 英国では米を生産していないため、英国で消費される米は全て英国外からの輸入。
- 玄米・精米の輸入量61.6万トン（2025年）に対し、中・短粒米は8.6万トン（約14%）。
- パーボイルド米を除くと、中・短粒米の大部分はイタリア、スペインからの輸入。

■ 英国の中・短粒精米の輸入量



注1：「その他の中・短粒精米」にパーボイルド米が含まれる。

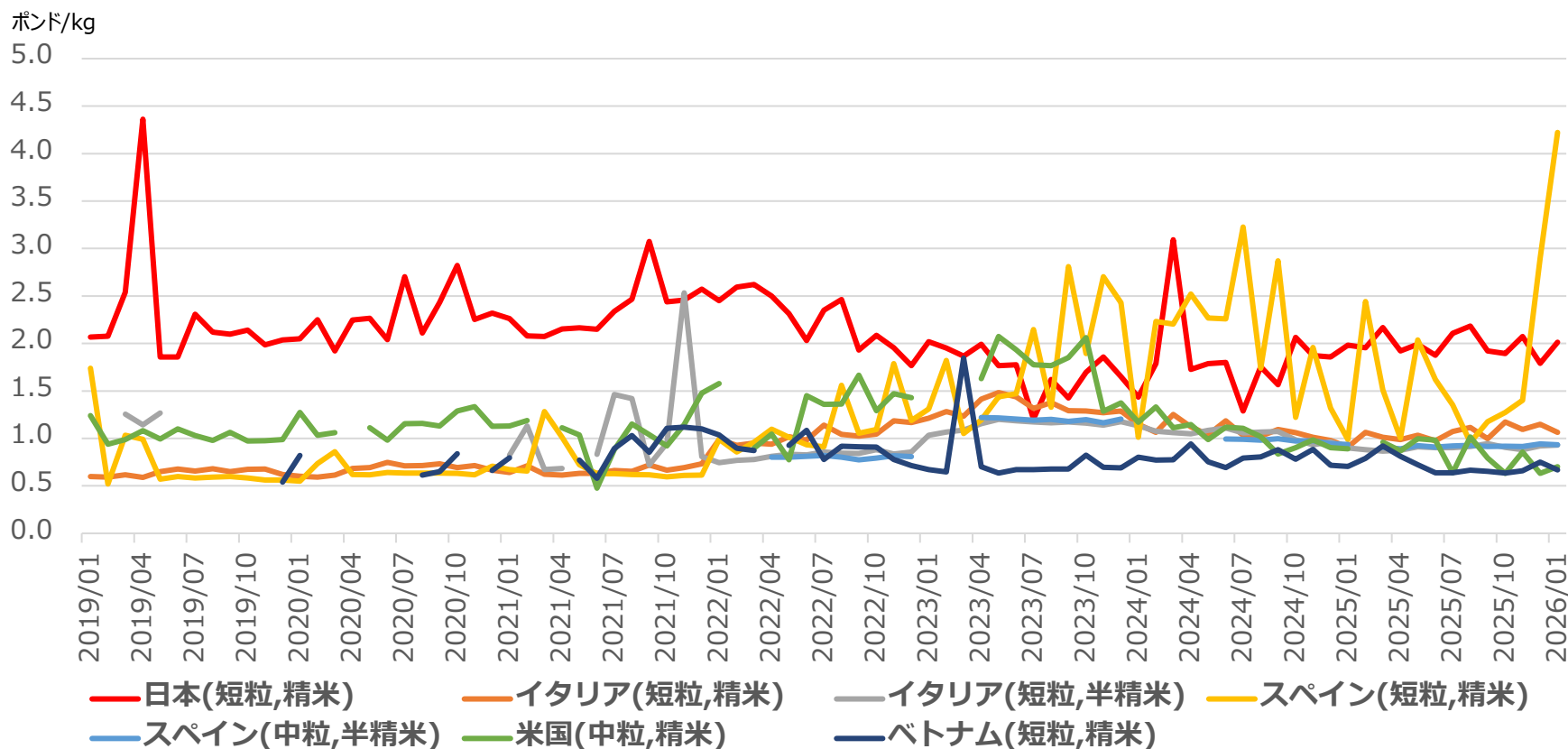
注2：2022年からイタリア産とスペイン産の輸入の多くが半精米に切り替わった理由は不明。

出所：英国歳入関税庁の貿易統計を基にジェトロ作成。

3 | 英国における中・短粒米の輸入価格

- 2022年以降、イタリア・スペイン産や米国産の不作による価格上昇と、円安の影響により、一時、日本産がイタリア・スペイン産に価格が接近。
- 直近では、日本産の価格は、イタリア産に比べて約2倍、ベトナム産に比べて約3倍（2026年1月、短粒・精米）。

■ 英国の主な中・短粒精米の輸入価格

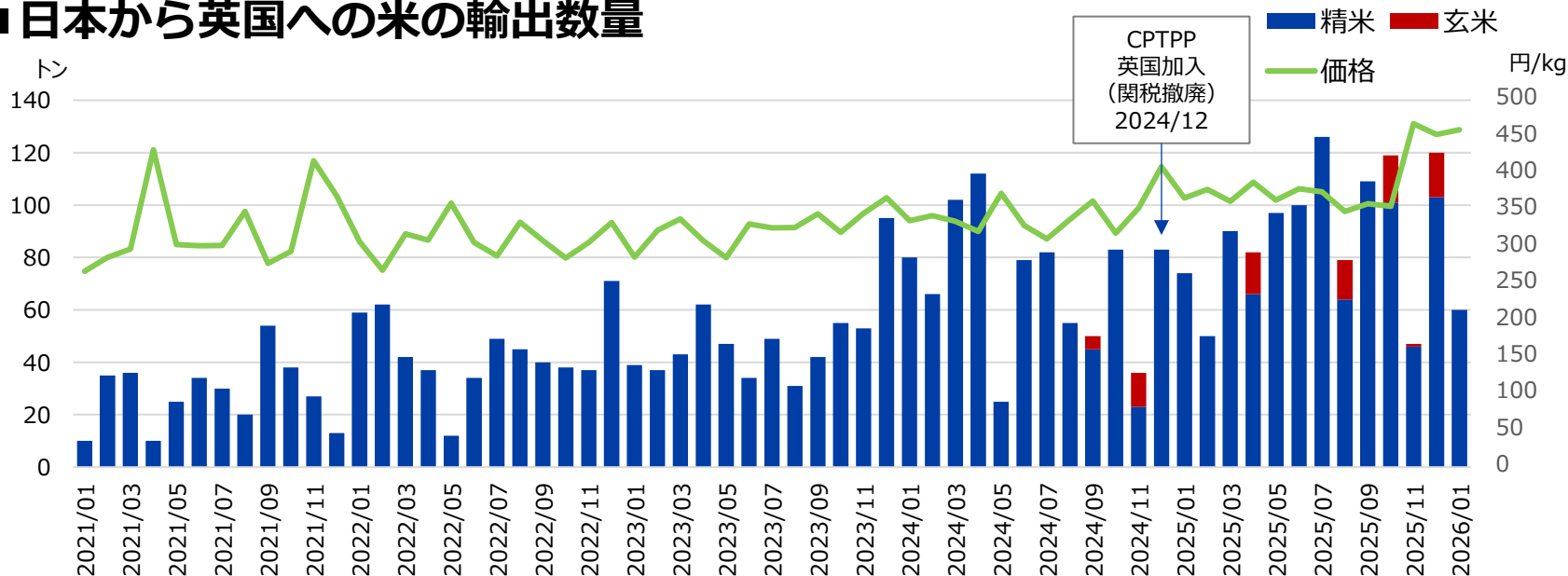


注：輸入価格は、輸入額を輸入量で除して算出。輸入のない月はプロットしていない。
出所：英国歳入関税庁の貿易統計を基にジェトロ作成。

4 | 日本から英国への米輸出

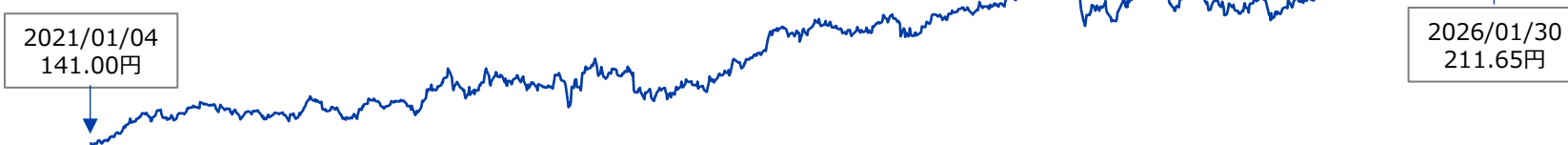
- 2023年後半から、円安やCPTPPを追い風に輸出量が増加（2021年332トン→2025年1,093トン）。
- 2024年5月に玄米輸出・現地精米の企業が英国に進出したことも輸出増に寄与。
- 2025年11月以降は、日本国内の価格上昇が反映され、輸出価格が約3割高い水準で推移。

■ 日本から英国への米の輸出数量



注：価格（右軸）は、各月について輸出金額を輸出数量で除して算出。
 出所：財務省（日本）の貿易統計を基にジェットロ作成。

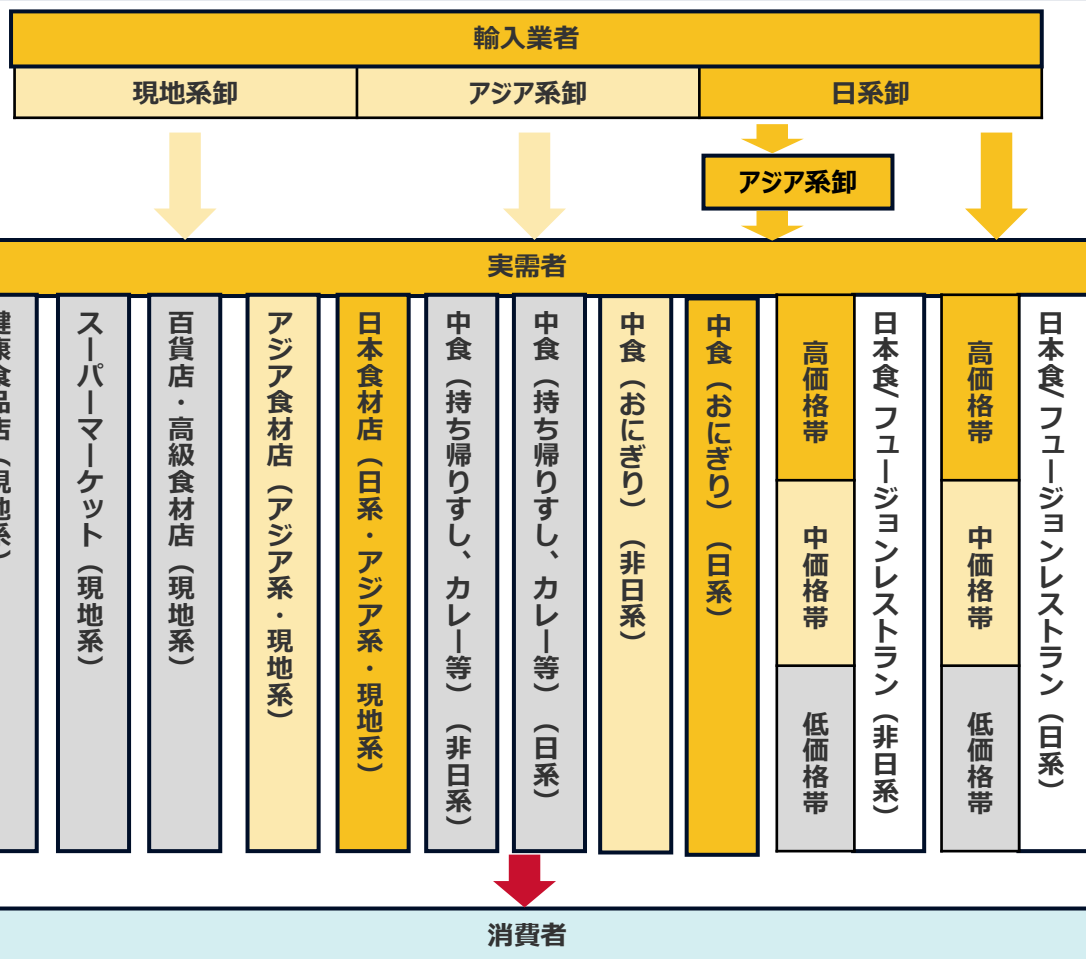
■ ポンド・円の為替レート



出所：みずほ銀行「外国為替相場情報 ヒストリカルデータ」を基にジェットロ作成。

5 | 日本産米の輸出拡大の展望

- 日本産米については、高価格帯のレストランや日本食材店など限られた流通先での販売に限られている。
- 中・低価格帯の外食・中食や現地系小売は、ハードルが高く時間も要するが、開拓できればチェーン展開で成長する大きな市場を獲得。日本産米の優位性と相手のビジネス上のメリットをどう訴えていくかが重要。
- 最近おにぎりが広がりつつあり、新たな日本食のアイコンとして注目。専門店では日本産米を積極的に使用。



日本産米を使用しているおにぎり店



現地系のスーパー、持ち帰りすし店のおにぎり (米の産地は不明)



出所：ジェトロ撮影、企業ウェブサイト

6 | 米加工品の輸出拡大の展望

- パックご飯については、現地消費者の簡便志向に合わせつつ、日本産ならではの食べ方の提案をすることが重要。現地系輸入卸のPBでは、パックご飯（米の産地は不明）、海苔、おにぎりの型、ふりかけ等をセットでおにぎりキットとして販売する企業も既に出てきている。
- 米粉・米粉製品については、競合商品との価格差が非常に大きいため、日本産米粉の強み（粒子の均質性、低いでん粉損傷率）を理解するシェフやパティシエ向けの商品提案が重要。また、現地消費者の健康志向に合わせた商品の見せ方も効果的。

■ 英国で販売されている米加工品

パックご飯



おにぎりキット



米粉・米粉製品



出所：各社ウェブサイトまたはECサイト

出所：ジェトロ撮影

【免責事項】

ジェトロは、本レポートの記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。これは、たとえ、ジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

本レポートは信頼できると思われる各種情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ジェトロは、本レポートの論旨と一致しない他の資料を発行している、または今後発行する可能性があります。

本レポートには、ジェトロの公式見解ではなく発表者の論考、意見が含まれます。これらについてジェトロは一切の責任を負うものではありません。

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ロンドン事務所



+44(0)20-7421-8300（代表）



Agra_London@jetro.go.jp



EC2V 6BJ
138 Cheapside London